

◆ ごあいさつ

当院は、スポーツ診療を得意とする整形外科クリニックです。私たちは「来院されたすべての方が笑顔になれる」を理念として、患者様が生涯に渡ってスポーツや運動を楽しみ、健康的な生活を送れるようサポートしています。また、職員も笑顔になれる職場であることを大切にしており、職員一人一人がお互いをリスペクトして仕事に取り組んでいます。

当院の理学療法士は、常に患者様の視点に立ち、明るく笑顔で患者様の治療にあたり、カンファレンスや勉強会を通して医師と意見交換し、知識や技術の向上に努めています。当院での就業に興味をお持ちの皆さん、ぜひ当院にお越しいただき、生き生きと働いている理学療法士の姿をご覧ください。教育や研修も充実していますので、新卒の方にも安心してご就業いただけます。皆さんと共に働けることを楽しみにしています。



大須賀 友規 院長

◆ 理念

「ご来院されたすべての方に、
笑顔でお帰りいただく」

私たち、おおすが整形外科は、「ご来院いただいたすべての方に、笑顔でお帰りいただく」ことを理念としています。すべての方を笑顔にするためには、まず、職員が笑顔でいられることが大切です。そのために、しっかりとした指導体制、充実した研修制度、職員による業務改善活動、地域貢献活動などを通じ、職員が医療者として、また社会人として成長していける環境を整えています。仕事を通して成長し、充実した毎日を過ごすことで笑顔になれる。それがおおすが整形外科です。

OSUGA CLINIC

◆ 特徴

1. 整形外科専門医による診療

院長は、診療経験豊富な日本整形外科学会の専門医であり、また日本スポーツ協会公認スポーツドクターです。院内カンファレンスなどを通して多くのことを学べる環境があります。専門書などの蔵書も豊富です。

2. MRI・CTを用いた高度な画像診断

スポーツ選手が故障してしまった際には、治療・リハビリテーションと並行して適切なトレーニングを行うことが重要です。当院では、スポーツドクター、理学療法士、管理栄養士などが競技復帰までをトータルサポートしています。

3. 初動負荷トレーニングを活用したリハビリテーション

多くのトップアスリートが導入している初動負荷トレーニング。当院ではこの専用マシンを導入し、リハビリテーションやスポーツ選手の能力向上に活用しています。疾病予防運動施設として認可されており、一般の方やスポーツ選手も利用されています。

4. スポーツ選手への専門診療・早期復帰へのトータルサポート

当院には画像診断装置として、レントゲンの他にMRIとCTが設置されており、より高度な画像診断を提供しています。トップアスリートには、MRIやCTを用いることで受診当日の診察・診断・リハビリを可能としており、多くのアスリートが受診しています。

医療法人社団 大須賀医院

おおすが整形外科



〒477-0032 愛知県東海市加木屋町竹ヶ谷117

TEL 0562-34-3400 (代表)

FAX 0562-34-3408

URL <http://osuga-orthopaedics.com>

OSUGACLINIC
Physical therapist

01 充実の教育と研修

社会人力 理学療法士力

仕事に必要な基礎的な能力の向上



入職時の研修では、法人の理念、学生から社会人へのマインドセット、ビジネスマナー、コンプライアンスなどを学びます。また、毎週1時間の研修を1年間継続し、社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)の向上を図ります。医療の専門性だけではなく、社会人としての成長も促します。

整形外科領域での専門性の向上

座学の研修



上司の理学療法士が講師となり、当院での診療に必要な実践的な知識や技術を学びます。小人数での座学研修ですので、しっかりと理解できるまで指導します。

カンファレンス



カンファレンスでは理学療法士だけでなく、医師や診療放射線技師と共に様々な角度から症例を検討します。先輩や他職種との意見交換を通して、多様な視点からの知識を共有します。

指導体制



患者様を治療する際には指導担当の理学療法士と2人1組で取り組み、施術方法についてベッドサイドで指導します。1日に施術する患者様の人数は、1日4名程度から開始しますので、時間をかけてしっかりと施術方法を習得することができます。

02 社会人力の向上＝専門性の向上

社会人としての能力を向上し、医療職としての知識や技術を高めます。

社会人力

理学療法士力

STEP 1



敬語や話し方、聞き方など社会人としての基礎的なマナーを身に付けます。



マニュアルの理解、患者対応およびカルテ管理など、専門職の基礎を身に付け、指導者と共に治療にあたります。

STEP 2



電話応対や名刺交換など、働くうえで必要な知識を身に付けます。



治療する対象疾患を増やします。検査、測定および動作分析などから疾患の全体像を理解し、治療の目標を設定します。

STEP 3



STEP1からの内容を踏まえ、模擬会議を行い実際の業務に活用します。



1日18単位の治療を担当します。カンファレンスなどで医師や先輩からフィードバックを得て、更なるスキルアップを図ります。

03 先輩インタビュー

「あなたに診てもらいたい」と
言っただけの理学療法士を目指して



和田 愛梨
(中部リハビリテーション専門学校 卒)

当院がスポーツ選手の診療に力を入れていることを知り、私もスポーツ診療に携わりたいとの想いから就職しました。当院ではスポーツ選手以外にも若年～高齢層と幅広い患者様を治療しますので、知識と技術を習得するために勉強の毎日ですが、先輩や上司が丁寧に教えてくれますし、多くの症例を経験することができるので、理学療法士として成長していると実感しています。



休憩時間に
施術の練習中



5月から実際に
施術スタート

理学療法士としてスポーツに関わるチャンスを求めて



寺師 望
(鹿児島県大学医学部保健学科 卒)

当院は提携しているチームが多く、理学療法士をトレーナーとして派遣している実績があったので、スポーツに関わるチャンスが多いと考えて当院に就職しました。見学対応してくれた上司が優しくあったのもポイントでした。現在は、FC刈谷のチームトレーナーとして帯同し、選手のケアやリハビリにあたっています。自身の治療によって選手がフィールドに戻る姿を見ると、理学療法士としてのやりがいを感じます。理学療法士としてスポーツに関わることはとても魅力的なことですので、スポーツに関わる仕事をしたいと思う方にとっても、当院はいい職場だと思います。

FC刈谷へ帯同する日

- 7:30 グラウンド到着
- 荷物運ぶ
テーピングケア
- 8:30 練習開始
- 10:30 練習終了
- 11:30 選手のケア、後片付け
～お昼休憩～
- 16:00 午後の勤務

05 責任者からのメッセージ

皆さんが入職された際には、まずは患者様の視点に立って寄り添うところから始めましょう。理学療法士としての「一人前」とは、知識、技術、コミュニケーション力、医療者や社会人としての倫理観等を備えていることと考えています。皆さんが早く「一人前」になるように責任をもって指導します。私たちの仕事には多くの喜びややりがいがありますが、大きな責任を伴い、プレッシャーや困難を感じることもあります。私たちは1人ではなく、チームとしてこの壁を乗り越えていこう心掛けています。皆さんがチームの一員に加わることを楽しみにしています。



若林 英希
(リハビリテーション部門 室長)

06 充実した設備

当院は、人工芝グラウンドや投球ブルベンを備えており、アスレチックリハビリテーションに活用しています。他院にはない設備を活用することで、理学療法士としての診療の幅が大きく広がります。



04 チームトレーナーとしての取組

Jリーグ参入を目指しているサッカーチームへの支援として、理学療法士をチームドクターとして派遣しています。担当の理学療法士は業務としてチームに帯同し、毎日の練習の他、公式戦ではベンチに入り、負傷者の治療や選手のウォーミングアップにあたります。また、彼我を選手は怪我を予防し、治療を担当して早期回復を促します。高いレベルのスポーツ現場での仕事は、新たな気づきを生み出してくれ、理学療法士としてのスキルアップに大きく貢献します。

3 Steps Process

Step 1

まずは院内業務として幅広い年齢層のリハビリを実施します。その中でスポーツ外傷や応急処置の方法を学びます。

Step 2

先輩トレーナーと一緒にチームドクターとのミーティングで選手の情報を共有し、ディスカッションします。

Step 3

独り立ちします。先輩トレーナーのバックアップを受けながら、自分自身が責任をもってトレーナー業務にあたります。